

あすかホルモン研究会のご案内

謹啓

早春の候、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。この度、弊社はあすかホルモン研究会を立ち上げ、第一回の企画となる講習会を下記の要領で開催しますので、何卒ご出席賜ります様お願い申し上げます。

なお、ご参加いただける場合はお手数ですが下記にお客様の所属とお名前を記入の上 FAX (03-5439-4191) にて、5月2日(木)までに返信をお願い致します。

敬具

記

日 時 2019年5月10日(金)
13時00分～16時30分(講演・質疑応答)
(受付開始は12時～)

会 場 グランメッセ熊本 2階・コンベンションホール
熊本県上益城郡益城町福富1010 TEL096-286-8000

テ ー マ 夏季に好発する牛の繁殖障害

対 象 獣医師、家畜人工授精師、生産者、養牛に関わる全ての方

講 演 基調講演 講師
山口大学共同獣医学部 教授 高木 光博 先生
パネルディスカッション パネリスト
熊本大動物クリニック 獣医師 船越 大資 先生
福岡県酪農協同組合 獣医師 大川 洋明 先生
オーガナイザー
あすかアニマルヘルス(株) 営業企画部 関 誠

参加費 無料

主催  あすかアニマルヘルス株式会社

所属	御芳名
----	-----

※5月2日(木)までに返信をお願いします。

※会場の都合上、先着200名様までとさせていただきます。

あすかホルモン研究会の内容

テーマ「夏季に好発する牛の繁殖障害」

暑熱によるストレスが繁殖に悪影響を及ぼすことは、多くの養牛家にとって切実な問題になっています。この暑熱ストレスの実態は、酸化ストレスであり、食欲停滞や感染リスクの増大に繋がることで知られています。そこで、臨床繁殖の専門家 3 名をお招きして、各先生の取り組む研究テーマの一部としての夏場対策に関する講演を準備して頂きます。

基調講演をお願いする山口大学の高木光博教授は、カビ毒のもたらず繁殖障害についてご講演頂きます。

パネリストを務めて頂く熊本大動物クリニックの船越大資先生は、近年、暑熱期の定時 AI プログラムに eCG 低単位を併用して受胎成績を向上させるなどの成功事例を基に泌乳牛の繁殖障害におけるホルモン剤の可能性について解説をお願いしています。

また、ふくおか県酪の大川洋明先生は、乳牛診療の傍、大学院博士課程に所属して研究を行っておられ、学位論文のテーマである炎症性子宮疾患について、暑熱との関連を交え最良の対策について解説をお願いしています。

以上のような内容を予定しており、ご参加頂いたお客様には有益な情報を提供させて頂きます。